

日向市社会福祉協議会重点事業 認知症支援の取り組み

ミュニティカフェ

日向市社会福祉協議会では、平成27年度の重点事業として、認知症地域支援体制推進事業を掲げ、 地域に暮らす認知症の方や、ご家族を支援するための様々な取り組みを行っています。今回は、取り 組みの1つであるコミュティカフェについてご紹介します

コミュニティカフェは、認知症の方やご家族の方のみならず、地域で"困りごと"や"不安"を抱 える方が自由に相談ができる場です。カフェには毎回福祉専門職が参加し、その場もしくは別室で個 別相談に応じています。

[現在、各地区の福祉医療機関の協力のもと、展開中]



地 区:大王谷地区(亀崎)

場所:なかむら内科循環器内科

実施日:毎月第3火曜日

協力支援機関

なかむら内科循環器内科

大王谷地域包括支援センター



区:富高地区(はるはら) 地

所:はるはら

実施日:毎月第3木曜日

協力支援機関

永寿園

中央地域包括支援センター



地 区:美々津地区

所:三股病院横

実施日:毎月第3金曜日

協力支援機関

三股病院

南部地域包括支援センター

こんな"ひと"は是非一度、立ち寄ってみてください。

- ☆日常生活において、"心配ごと"や"困りごと"がある人 ☆将来について"不安に思うこと"がある人
- ※相談したいことがあるのに、相談するところがわからない人 ☆介護サービスや福祉サービスについて知りたい人
- ※認知症の人やその人を支えている家族や親族、友人、住民 総もの忘れが気になる人、または家族や友人
- 窓外にでる機会が少なくなってきた人
- 爲持っている力を、地域のために、人のために使いたい人

- ⇔子育て中の人、家族





あなたの身近な相談相手

わたしたちは 民生委員・児童委員 です!



心配事、悩み事ひとりで抱えていませんか? あなたの暮らす地域には身近な相談相手がいます

民生委員・児童委員とは、民生委員法に基づき厚生労働大臣より委嘱され、それぞれの地域において、常に地域住民の立場に立って相談に応じ、必要な援助を行い、社会福祉の増進に努める方々です。

現在、日向市では139名の民生委員児童委員が活動しています。

民生委員・児童委員の主な役割は・・・

- ①地域での見守りや声掛け訪問
- ②困ったときの相談相手
- ③関係機関を紹介したり、相談をつなぎます

高齢者から児童まで皆さんの困りごとや相談に、幅広く、いつでも対応します。



個人情報は守ります!安心してご相談ください。

【こんな活動もしています】









「民生委員・児童委員について知りたい」 「私の住んでいる地域の民生委員さんは誰?」

など、民生委員・児童委員についてのお問い合わせ は事務局(日向市社会福祉協議会)までご連絡くだ さい。

[日向市民生委員・児童委員協議会事務局] 日向市社会福祉協議会

TEL: 52-2572

担当:黒木 麻砂美·五十川 裕真

東郷地区の東郷地区住民による、東郷地区住民のための制度

日向市福祉推進員制度



福祉推進員初任者研修を行いました!! 新たに28名が参加!!



平成27年度より福祉推進員になった方々を対象に福祉推進員の意義や活動方法、関係機関・団体等についての研修会を行いました。

今回は、新たに28名の方に参加していただきました。これからの活動につなげていただきたいと思います。

事務局としても、より良い活動環境づくりに尽力していきます。

「福祉推進員制度」とは、 東郷域の班ごとに1名が福祉推進員として選任され、主に班内の見守り活動を行うなど地域福祉活動に取り組んでいただいております。

活動の中で住民の異変に気づいたら民生委員、区長、社協等の関係機関につなぐ等の役割も担っています。

今年度は、福祉推進員として<mark>認知症</mark>への理解と、 支援体制の推進を図ることを中心に、全体研修を年 3回計画しています。

また、あんしんカードやひまわりプロジェクト等の充実を図るため、区推進員会議を積極的に行います。「地域住民が地域の中で**孤立しない、させない**」を念頭に活動を展開していきます。

[福祉推進員についてのお問い合わせ] 日向市社会福祉協議会 東郷支所

TEL:69-2116 担当:大野 靖文·赤木 智子

地域住民一人ひとりが社協の会員です!

知っていますか?みなさん地域住民一人ひとりは、社会福祉協議会(以下、「社協」)を構成する会員です。社協は、地域住民とともに「みんなの助け合いの力」で誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくりを目指しています。社協は、市民の皆様一人ひとりをはじめとする会員、ボランティア、保健・福祉などの施設関係者などで構成されています。



日向市社会福祉協議会が目指すもの!

日向市社協ビジョン(H25年度~H27年度)

地域住民が地域社会から孤立"しない""させない"仕組みをつくる



9. どうしてそんな仕組みをつくる必要があるの?

A.地域住民の普段の暮らしをしあわせにするためです!

地域住民みんなが「しあわせ」になるため、社協は地域住民とともに、地域 福祉活動を行っています。しかし、現在の私たちを取り巻く環境は、少子高齢 化や核家族化など社会情勢の変化に伴い、福祉問題は複雑多様化しています。





自殺、孤立死、虐待死、餓死、 徘徊死、生活自立困難、貧困、 老々介護など

これは決してテレビや新聞だけのことではありません。日向市でも・・・

平成26年度に社協に寄せられた相談件数703件

(平成25年度は535件で△168件)

※相談事項別では、

330件(46.9%/△50件) 生計や年金などの生活関連の相談

199件(28.3%/△97件) 介護や障害、児童母子など

113件(16.1%/△35件) 医療や精神保健関連

13件(1,8%/ ▼5件) 人権、財産、事故など法律関連

48件(6.8%/▼9件) その他

()内は相談の比率と前年度増減△=増 ▼=減

年々増加する相談件数に対応するなかで、このような現状を生む福祉課題の根幹は、「経済的困窮」と「孤立化」であると考え、その問題を解決し、地域住民一人ひとりがしあわせになるためにビジョンを掲げました。

生活福祉課題が複雑多様化している中で、個人の力(自助)では困りごとを解決するのに限界があります。行政・公共の力(公助)でもすべてに対応することはできません。今後は地域の問題解決において住民相互のたすけあいによる力(互助)は必要不可欠です。

その**住民同士のたすけあいの力(地域の福祉力)**によって地域福祉活動が推進され、地域住民一人ひとりがしあわせになるのです!

地域福祉活動を推進するために必要なものは。。。

「人」=主体的に地域福祉活動に参加する人

「物」=地域福祉活動に必要な道具、拠点

「知恵」=地域福祉活動の手段や方法、アイデア 「金」=地域福祉活動の財源

地域住民一人ひとりをしあわせにするために、みんなで知恵を出し合い、協力して、様々な社会資源 を活用し、必要な費用があれば負担し合い、地域福祉活動を推進していきます。

住民相互にたすけあう仕組みが求められています。



②、社協会員制度を否定区?

A.地域住民一人ひとりが会員の住民相互にたすけあう仕組みです!。

地域福祉活動の主役は地域住民です。その住民相互のたすけあいの仕組みである社協会員制度は、この日向市に住む一人ひとりで構成され、主に下記3つの会員で構成されています。



種類	対 象	会 費 額	募集活動					
一般会員	地域住民 (世帯)	年間500円 (1世帯あたり)	各区に依頼し、区長や班長を通じて戸別徴収または区会計 予算化により区費などから会費をご負担いただいています。					
特別賛助会員	個人、団体など	1口1,000円	個人や団体などに対し、民生委員児童委員や社協職員がお 声かけさせていただき、会費をご負担いただいております。					
福祉賛助会員	法人、企業 など	1口10,000円	商工会議所にご協力をいただき、市内の企業などから会費 をご負担いただいています。					



社協一般会員会費(1世帯年間500円)の使い道

平成26年度の納入実績額は5, 599, 057円でした。(区費などの予算化地区76件、戸別納入方式地区15件、その他8件)皆様のご理解とご協力ありがとうございました。

平成27年度は、目標額 $\frac{5}{5}$, $\frac{800}{0}$, $\frac{000}{0}$ 円です。いただく会費は、地域住民がしあわせになるために、以下の地域福祉事業に支出予定です。

個別相談支援で地域から 孤立"しない" "させない"



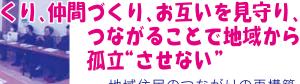
様々な生活課題、困りごとを抱え、地域で 自立した生活を送ることが困難な状況に ある人に対して、個別支援(寄り添い型支援) を行います。

- •自立生活相談支援
- 総合相談事業
- 貸付金、福祉資金の相談など

福祉情報の発信 社協だよりを



生きがいづくり、仲間



地域住民のつながりの再構築 や新たな見守り体制の整備を行い、 地域社会から孤立させません。

ふれあいいきいきサロン事業マイクロバス利用(サロン)

地域の福祉力を高め、地域の福祉活動推進を支援

市内10地区に地域福祉コーディネーター30名を配置!福祉の専門職として、地域診断・福祉座談会・福祉部設置・小地域福祉活動の実践など、地域を知り住民同士が協議して、できることから実践し継続する取り組みを支援します。

地域支援プロジェクト事業

自配り気配りで孤立"させない"地域をつくる

地域に福祉アンテナ役「福祉推進員」 を配置!地域の福祉人財を育て、見守 り、地域社会から孤立させません。

•福祉推進員事業(東郷域)



地域福祉推進のため、ご負担とご協力をよろしくお願いいたします!

≪社協会員制度や会費納入に関する問い合わせ先≫ 総務課総務係 穴谷修志・田村弥生

日常建活自立支援事業

認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者などで、判断能力が不十分な方が、地域であんしんして暮らせるように福祉サービスの利用手続きや金銭管理のお手伝いをしています。



最近物忘れが多くて 預金通帳をちゃんと しまったかいつも心配な方



計画的にお金を使いたいけど、いつも迷ってしまう方



<利用できる方>

自分ひとりで契約などの判断をすることが不安な方や、 お金の計算や管理ができなく困っている方などが利 用できます。ご家族からの相談も可能です。気軽に 相談ください。

平成26年度は632件の相談があり、現在89名と契約しています。金銭管理の計画を立てる専門員と、金銭授受や支払を代行する支援員が、毎月3回(5・15・25日)支援を行います。

平成27年度生活支援員会議を開催しました

平成27年5月15日、第1回の支援員会議を開催しました。 現在、支援員は13名です。今回の会議では、利用者宅や施設 を訪問し、ご様子を確認して、専門員と情報を共有・連携して 支援を行うことなど再確認をしました。支援員が定期的に訪問 することで、見守りも出来ます。安心して暮らせるための大事 な役割を担っています。



ボランティア·市民活動センター情報 地域の力で災害への備えを!!

災害ボランティアセンター運営訓練実施します!!!

地震や風水害など大規模災害時には、被災地内外から支援に駆け付けるボランティアの力が、被災地の復旧・復興のために欠かせない"大きな力"となっています。日向市社会福祉協議会では、災害発生時に地域住民の皆様と共に「災害ボランティアセンター」を立ち上げ、「被災者のニーズ把握」「ボランティアの受入・派遣」の総合調整を行う役割を担っています。

今回は、災害ボランティアセンターへの理解と 運営体験を行います。 "地域を地域で支える力" をつけるために、ぜひ訓練に参加・ご協力ください。







[訓練実施日]

日時:平成27年7月19日(日)

9:00~12:00 ※時間変更あり

場所:日向市総合福祉センター

内容:災害ボランティアセンターについての研修

運営体験 他

訓練運営協力者募集!!

災害ボランティアセンター訓練の運営について協力し てくださる団体・個人を募集しています。地域の皆様の 声を聞かせてください。

受付期間:6月1日(月)~6月19日(金) 内 容:訓練についての企画・当日の運営

お問合せ TEL: 52-2572

担当:五十川裕真·黒木麻砂美



指定管理者として目向市から管理を受託して、事業運営を行っています。

大王谷児童館 電話50-1117

行事のお知らせ

6月4日(木)10:30~11:30

『幼児親子:ふれあい教室』

☆親子でスキンシップ

手遊びや赤ちゃん体操をしながら笑い声がいっぱいのふれあいの時間を楽しみましょう♪

6月20日(土) 14:00~15:30

『小学生:お花教室』

☆素敵なアレンジフラワーをみんなで作っ てみよう! きれいなお花たちを心を込め てかざりましょう♪



日知屋・大王谷合同

6月6日 (±) 8:30~12:00

『小学生:スポーツ教室』

☆スポーツが大好きな君はもちろん、ちょっと苦手な君も絶対楽しめる!遊び感覚 で色んなスポーツを体験しよう!!

場所:サンドーム日向

服装:体操服・運動靴

持ってくるもの 水筒・タオル

※ 6月2日締め切りです。

日知屋児童センター 電話52-8443

行事のお知らせ

6月13日(土) 14:00~15:30

『小学生:雨の日だいすき!!』

☆お外で遊べなくても、思い切り盛り上がりたい!!腕相撲に手押し相撲、押し競まんじゅうなどなど、色んなお相撲、やってみよう!!

★6月6日締め切りです。

6月20日(土) 14:00~15:30

『小学生:こころの教室』

☆「福祉」って難しそうって思っていませんか?!悲しい気持ちに気づくこと、優しい言葉をかけること、実はとても簡単で誰でもできること。さあ、たくさん見つけよう!

★6月13日締め切りです。

6月26日(金)10:30~11:30

『幼児親子:オモチャ広場』

☆親子で木の感触や香り、木目の優しさを 感じてみませんか?どのオモチャもアイ デア満載で大人もはまってしまうこと間 違いなしです!!

★6月19日締め切りです。

キラッと笑顔 夜空に輝く 日向七夕!!

日向市の恒例行事となった「七夕まつり」 今年も、日向市駅周辺でステージがベントが 行われ、また日向市内の福祉施設や保育園な どからも色とりどりの「七夕飾り」が飾られ 駅周辺を彩ります。もちろん、日知屋児童セ ンター・大王谷公民館も出展します!一人ひ とりの願いをかたちにして一緒に七夕飾りを 作ってみませんか?



製作期間:6月15日(月)~20日(土) 飾り付け期間:6月27日(土)~7月11日(土) 制作場所:大王谷児童館・日知屋児童センター

はじめませんか?傾聴ボランティア

傾聴ボランティアとは、相手に寄り添い、話を聴く活動です。 近年、便利で快適な暮らしが普及してきた一方で、人と話 す機会や、人と人のつながりが少しずつ薄れ、地域から孤立し、 話したくても話せない人が増えています。

傾聴ボランティアは、そういった方に寄り添い、傾聴活動を 行う中で、少しでも心が安らげるような時間を提供します。

日向市社会福祉協議会では、傾聴活動を行う団体・個人を 支援し、活動を広げる取り組みを行っています。





講座参加者募集!

この度、傾聴ボランティアへの理解者・協力者を養成するため の「傾聴講座」を実施します。傾聴ボランティアに興味のある方 はお申し込みの上、ご参加ください。

時:平成27年7月3日(金) \mathbb{H} 場 所:日向市総合福祉センター

内 容:①傾聴ボランティアとは(講座)

②傾聴体験(ロールプレイ)など

申込期限:6月19日(金)

日向市ボランティア・市民活動センター TEL:52-2577 担当:五十川裕真

ご協力ありがとうございます



5月10日(日)~15日(金)の期間で食糧支援事業(フード バンク)の食品募集を行い、趣旨にご賛同いただいた多く の市民のみなさんから暖かいご寄付をいただきました。ご 寄付いただいた食品は、日向市社協でお預かりし、生活困 窮者の支援物資として活用させていただきます。なお、食 品提供受付は、上記期間以外でも随時実施していきます。

4月からの「生活困窮者自立支援法」の本格実施にとも ない、生活困窮者へのより一層の支援が求められます。今 後とも皆様の暖かいご支援、ご協力をお願い申し上げます。 また、生活上の困りごとがありましたら、『生活相談・ 支援センター心から』までご相談ください。

【発行者】

社会福祉法人

日同市社会福祉協議会

ホームページアドレス http://hyuga-shakyo.or.jp/ [日向市ボランティア・市民活動センター]

[≪]ひまたん (日向本所)

TEL(0982)52-2572/FAX(0982)52-9562

〒883-0034 日向市大字富高207-3

日向市総合福祉センター

香典返し・一般寄付ありがとうございました

•	(台)	世返 (ン) f	蚁柳贻	i	4				一队21年4月分		
	喪	主(または寄付者)			,	人	人		9 2	区		
	山		幸	善	山		_	男	坪		谷	
	黒	木	芳	和	黒	木	ツル	レカ	高		松	
	松	木	Ŧ	35	松	木	シ	Ŧ	広		見	
	安	田	喜美	€子	安	田		求	花	ケ	丘	
	林	田	久	子	林	田	直	機	曽		根	
	児	玉	スナ	⊦子	児	玉	袈裟	幸	金	ケ	浜	
	田	中	照	子	田	中		典	切。	島山	12	
	甲	斐	優	子	土	屋	梅	子	金	ケ	浜	
	井	手	幹	雄	井	手	晴	子	比		良	
	藤	宗	和	史	藤	宗	武仁	子	曽		根	
	稲	田	政	子	稲	田	継	男	田		野	
	原	田	鶴	代	原	田	信	隆	切。	島山	12	
	畝	原	孝	純	畝	原	ミ	ノエ	小	野	田	
	寺	原		勝	寺	原	初	代	坪		谷	
	Ш	野	満	美	Ш	野	佐者	『美	籾		木	
	橋		信	孝	橋		宗	弘	新		町	
	是	澤	雄	子	是	澤		力	東	草	場	
	火	宮	徳	幸	火	宮	ミッ		往		還	
	矢	北	純	教	矢	北		清	庄		手	
	松	木	千里	₽子	松	木		勝	下	原	町	

〈一般寄付金〉敬称略

/孟曲版1.) 勘称略

平成27年4月分

氏名・団体名

宮内 ミツ子

ひまわり会 ダンスサークル

カラオケ太陽グループ 代表 六角 立男

山本

社協目記

2025年(平成37年)には、団塊の世代と呼ばれ る昭和22年から昭和24年までに出生した世代が全 て75歳以上となる時期を迎え、一人暮らしや認知症 の方などが増加してくると予測されています。

団塊の世代の方は、子どもの頃から厳しい環境に置かれてきました。第二次世界大戦後の食糧難の時代に 育ち、市内に学校数が少なった中学校時代においては、 ークラス・50人以上の生徒で授業を受けていた学校 もあると伺いました。受験や就職する時は、教師、保 護者、生徒とも多人数の中で大変だったことは想像で きます。

今年3月、日向市社協で地域福祉活動企画コンテス トが開催され、最優秀賞に「気配り、見守り」ご近所 ウォークが選ばれました。少子超高齢社会の中で希薄 になってきた人間関係を改善するため、声かけなどを しながら近隣の高齢者等を見守っていこうという素晴 らしい企画です。多くの皆さんの参加により実施して いきたいものです。

国は、高齢者の増加に伴う厳しい財政運営を受けて 社会保障費の抑制を図るため、医療費等の一部負担増 や公的年金の支給額抑制などを行いました。国の財政 状況からやむをえない事情もありますが・・・。これ まで我が国の経済成長を支えてきていただいた方達です。 高齢者の方を気配り、見守り、ご近所ウォークしなが ら温かく支え合い・助け合っていきませんか。(ひこぴー)

〔東郷支所〕

〒883-0102 日向市東郷町山陰丙1265-2 日向市東郷地区総合福祉センター TEL(0982)69-2116/FAX(0982)69-2274

Eメールアドレス hyuga207@eagle.ocn.ne.jp